

住民こそ主人公・住民のための市政を

# 明日の相模湖

No. 898

2024年1月号

発行：日本共産党相模湖支部

住所：相模原市緑区寸沢嵐794-3

宮崎あき子気付

電話：042(685)1046

mail: jcpsagamiko@gmail.com

## 土木関係の要求に対する回答②

前号からの続きです。

●土砂崩れの危険性のある場所に擁壁などの設置対策を

寸沢嵐12333のYさん宅前は周辺住民の生活道路や通学路にもなっている所だが、高さ5〜6Mの急な法目となっており、土砂崩れ防止用にコンクリート棒が積み重ねられているが一部崩れかけている。早期の工事などを要請する。

【回答】がけ崩れについては、台風などの豪雨の後は現地確認を行い、

状況を注視している。コンクリート塊の崩れについては、撤去又は修繕など設置者と調整していく。

●振動対策を

国道412号線 内郷駐在所横の上り線側に工事跡の切り目の段差によって振動が発生。特に大型車の通行の際はその振動が大きく、就寝中などはその振動で目を覚ます程のものとなっている。急ぎの対応を。

【回答】令和5年3月に舗装路面の擦り付け（路面パッチ）を行った。

（注：振動は小さくなったが大型車が通行するとまだ振動する）

●側溝のグレイチング蓋のゆるみから発する音の解消を

要望が寄せられている若柳・つじヶ丘団地内の場所は、車が通るたびにガチャン・ガチャンと鋭い金属音を発し、就寝中などはその音で目が覚める時もある。

【回答】団地内の横断側溝の土砂除去と、グレイチングの音鳴り防止については令和5年7月に対策済みである。

●歩道の設置を

市道・関口・道志線。寸沢嵐2770付近のMさん宅側の歩道が70メートル程で途切れている。ここは通学路であるが、勾配もあって車のスピードが出やすい形状となっている。早急に歩道の設置を求める声が寄せられている。今後の対応などを住民に説明すると共に早急に歩道設置を。

【回答】安全対策のあり方について検討を行っていく。

※訂正 前号の記事で「国道142号線から正覚寺に……」は国道412号線からの誤りでした。

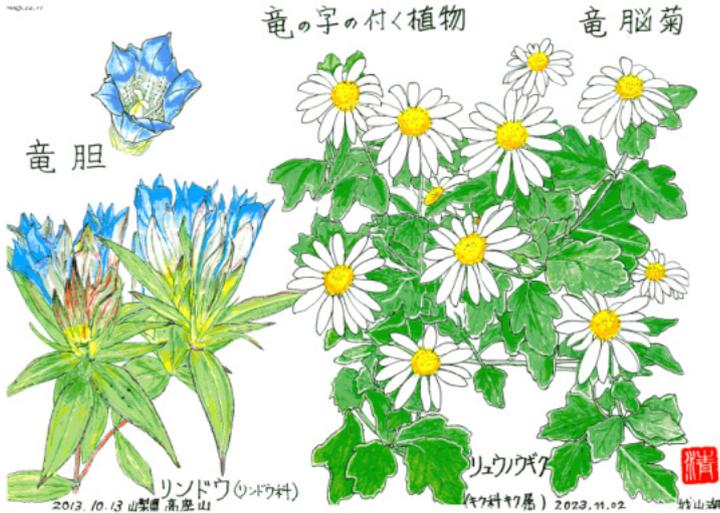
## 謹賀新年

新年おめでとうございます。  
昨年の市議選では田所健太郎市議の議席を中村圭候補に引き継ぐことが出来ず大変申し訳ありませんでした。  
共産党は今月、第29回党大会を開きます。大会で私たちは自民党政治のゆがみをただす日本改革の展望を示すとともに、来たるべく総選挙での躍進・南関東ブロックでの3議席奪還、そして強く大きな党へ成長する決意を固め合います。引き続き大きなご支援をよろしくお願い致します。

2024年1月

日本共産党相模湖支部





# 「竜」の字の付いた植物

新年おめでとうございます。

今年辰年（竜年）という事で、竜の字の付いた植物を調べて見

ました。  
竜脳菊（リュウノウギク）、竜胆（リンドウ）、竜の髭（リュウノヒゲ）、竜舌蘭

（リュウゼツラン）などありました。このうち竜舌蘭はメキシコ原産の園芸植物です。他の三種は日本に広く自生する種類です。

竜脳菊は秋遅く山の日当たりの良い崖などに見られる野菊で、白い花を咲かせ、葉をもむと竜腦（樟腦）の香りがする事で付いた名前です。

リンドウは根が苦く、胃の薬に用いたの  
で、竜の胆嚢のように苦いという意味で竜胆と書きます。竜の髭は林の縁や土手などに生え、細い葉を根元から束生して茂り、秋に株の中に鮮やかな青色の果実を実らせています。子どもの頃、篠竹で作った「突き鉄砲」の弾として遊んだなつかしい青い実です。

話は変わりますが、元日に初日の出のダイモンド富士を、その名も「竜ヶ岳」という山から見るといいうツアーに参加し、見事な富士山頂から昇る太陽に感激しました。その夕方、能登半島地震が起こり、大変な被害が出ている事に、あけましておめでとうとは云いにくいお正月です。



新年おめでとうございます。

ガザの人道危機とロシアのウクライナ侵略に世界が胸を痛め、物価高騰で国民が苦しむなか、政権与党は巨額の裏金疑惑逃れに汲々とする――あまりに異常です。

新しい年に、憲法9条を生かした外交で戦争の心配のない東アジアをつくる「外交ビジョン」と、暮らしの困難を打開する「経済再生プラン」という建設的提案をおおいに語り、自民党政治をもちから変える展望と希望を届けるために、全力をつくします。

衆議院議員 志位 和夫



新しい年を迎えました。

昨年、賃上げ・待遇改善、ストライキ、消費税減税、健康保険証存続、教育、ジェンダー平等、環境、基地問題など、みなさんと一緒にとりくみました。

いま、裏金疑惑、オスプレイ墜落事故など、自民党政治への国民の怒りは、かつてなく高まっています。物価高からくらしといのちを守り、戦争の心配のない平和な毎日――憲法ごおりの政治に変えるために、ご一緒にがんばります。

前衆議院議員 はたの君枝